



理事長あいさつ



～『地域食堂！皆さんの笑顔でにぎわっています！』～

いちかい子育てネット羽ばたきは、お陰様で、5年目を迎えることができました。本年度も①子育てひろば ②学童保育 ③自然体験学習 ④多世代交流の大きな柱を中心に、皆様の要望やアイデアなどをいただきながら、この地域の魅力を発信できる活動をおこなっていきたいと思います。ご支援のほどよろしくお願いいいたします。

2回目となる東京足立区の白うめ塾との農業体験は、地元の農家の皆さんから丁寧なご指導を受け、田植えや稻刈りや収穫祭をおこないました。農業の大変さを知るとともに、自分たちで作ったお米のおいしさを味わうことができました。

今年も、白うめ塾の皆さんと地元の方々と交流しながら、美味しいお米づくりをするのが楽しみです。

また、昨年度から始まりました地域食堂には、3地区でたくさんの調理ボランティアの方々に協力していただいています。地元の野菜を使ってのお料理は大変好評です。足を運んでくださっている方々から、「みんなと一緒に食べると楽しい！とってもおいしい！」と次回を心待ちにして下さっている声が聞かれます。皆さまの温かな協力があつての活動です。食べながら楽しい時間を共有できるようにさらに工夫をしていきますのでお友だちを誘っていらして下さいね！また、私たちの活動の中心となっている希望の丘や校庭は、地域やトチギ環境未来基地の方々が整備してくれています。お陰様で元気いっぱいの学童の子どもたちや訪れる方々にとって、とても居心地の良い活動しやすい場所になっています。心から感謝申し上げます。

今後も皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますようにお願いいいたします。

きぼうの丘学童クラブ

きぼうの丘学童クラブは「家庭でもない、学校でもない、地域の居場所を作ることを目的とし、保護者と子どもが安心出来る第二の家庭として、その場を提供していく」という事を掲げ、咲き誇る桜の樹々に見守られ、5年目の扉を開きました。3月には、開所時3年生だった児童（女子2名）の卒業・巣立ちを学童の子どもたちと祝い喜びました。共に過ごした年月がかけがえのない日々であり卒業の二人からは「みんなと過ごして楽しかった。大切な思い出になった。」と言ってもらい本当に嬉しく幸せな気持ちになりました。

卒業生の二人は中学校入学までの春休みの間も学童に通ってくれました。この場に預けておくことで安心できるという保護者の意向と、ここに来て、みんなと一緒に過ごしたいという子どもの想いでした。そんな時この学童を必要としてくれている事を実感し、安心できる第二の家庭としての役割に身の引きしまる想いでした。

新年度、新一年生（11名）を迎える、常時38名が学童を利用しています。単発預かりの申し込みを含めると長期休暇などでは50名が過ごすことになります。

下校後、送迎バスやスタッフの送迎の車に乗って学童クラブに帰ってきます。「ただいま！」元気いっぱいです。そして、保護者の方々がお迎えに来るまで過ごします。「宿題やろうね！」スタッフの声掛け。「ここ、わからないよ～。」「どの問題？」そんなやりとりや、上級生が下級生に教えてあげる光景も見られます。宿題が終われば、自由な時間です。「さあ、遊ぶぞ！」晴れた日はグランドで思い思いの遊びが始まります。サッカー・鉄棒・タイヤ跳び・虫取りに秘密の基地づくり等・・・。教室の中でも読書やボードゲーム・トランプ・お絵描き等、工夫しながら遊んでいます。こま回しやけん玉も上手にできるようになりました。

学年や性別、通っている学校が違っても、ふれあいの中で友達づくりが広がっています。

おやつタイムでは、スタッフのひと手間かけたメニューが並びます。班に分かれて食べた後は当番制でテーブルの片づけなどを協力しながら頑張っています。

長期休み（夏・冬・春）には、朝から夕方までの長い時間学童で過ごします。講師や地域のボランティアの皆さんを迎えての、体験型のイベントや宿題のサポート他、バスで出かける遠足など子どもたちの意欲や好奇心を満たすことのできる企画を考えています。

私たちスタッフは、個性豊かな子どもたちと喜怒哀楽を共にし、優しさと厳しさをもって、毎日を展開しています。恵まれた里山の環境の中で、地域の皆さんとのご協力を頂きながら、今年度も精いっぱい頑張ってまいります。

2018/5/10現在

1年生	11名
2年生	7名
3年生	8名
4年生	5名
5年生	5名
6年生	2名
全学年	38名



広いグラウンドで
楽しく、元気よく遊んで
います。



毎日の楽しいおやつ。
幸せです♪♪♪



～なつ～

夏は冒険の季節。

やったことのないフラワーアレンジメントやクラフトテープで作るリースや小物入れ。

デコレーションもひとりひとりの感性が光ました。

少し遠出の遠足はミュージアムパーク茨城県自然博物館へ。

各展示の問題に答えたり、興味深く館内を見学し、野外施設の大型トランポリンでは汗いっぱい大歓声を上げて飛び跳ねていました。



遠足in茨城県自然博物館



更生保護女性会さんとのランチ

オピさんとの餃子ランチ



手作りバイキング



トチギ環境未来基地さんと流しそうめん。



鈴木勘也さんによる腹話術



平野篤子先生とフラワーアレンジメント。



鈴木奈津子先生とクラフトバンド



赤羽学童のお友だちとの交流会スリッパリレー。盛り上がったね。



～あき～

秋は学びの季節。

金ブナ稚魚の放流のお手伝い。

「大きくなつて帰ってきてね！」の願いを込め放流しました。

小学校の運動会や学習発表会へスタッフも応援に出かけ、学童の子ども達の頑張りを見守りました。

インターンシップに来てくれた大学生のお姉さんと勉強や遊びも一緒に楽しみました。



ハロウィン、おばけピニャータから何が出てくるかな？



金ブナの稚魚放流。大きくなあれと。



～ふゆ～

冬は歓びの季節。

冬休みに入ってのおたのしみ会。

bingo大会はなかなかbingo！にならなくてイライラ・・・。

でも、揃った時は「やったー！」たくさんのプレゼントの中から悩んで迷って選びました。

自分でデコレーションしたケーキも美味しかったね。

年明けての炭をおこして、焼きおにぎりにマシュマロ。おいしかったね。



クリスマスを兼ねてのお楽しみ会。
素敵なケーキができましたね。



さあ、炭をおこしての昼食作り。みんなマッチするのも上手になったね。



この冬は大雪が降りました。
子どもたちは大喜びでした。
希望の丘も雪化粧です。

～はる～

春は出会いと別れの季節。

ずっと一緒に過ごしてきた優しく頼りになったお姉さんの卒業。

毎日、学校から学童までを送迎してくれた菊島運転手さんの退職。

ひとりひとり、ありがとうの気持ちを込めてメッセージを書きました。

お友達の転校や学童を利用しなくなる仲間もいて寂しくなりました。

でも、可愛い新1年生が仲間入りしてワクワク。桜の咲く希望の丘でお花見ランチ。



ミニ遠足で真岡市の井頭公園へお出かけ。

鯉の餌やりに大興奮。アスレチックはみんなで助け合いながらクリアしました。

新入生歓迎を兼ねた手作りランチ会ではバイキング風におなかいっぱい、うれしく楽しい時間でした。



杉の樹園訪問。おじいちゃん、おばあちゃんと遊んできました。



3月。
6年生とのお別れ。
そして、菊島運転手さんとのお別れがありました。



関澤久子さんに百万遍を教えてもらいました。

真岡井頭公園で、たくさん遊んできました♪

親子の交流を提供する事業

平成29年度の主な活動

4月
お花見LUNCH
希望の丘めぐり
缶バッジ作り



5月
けん玉・コマ回しに挑戦！！
オカリナ演奏にうっとり♪



12月
クリスマスケーキ作り。おいしかった。



1月
郷土料理「しもつかれ」を作ろう
節分の鬼の面作り。鬼は外。福は内。



10月
手作りうどんLUNCH
ハロウィンランタン作り。
素敵な灯りがいいですね。



7月
益子【ゆるり】さんでLUNCH

3月
梅の里へお散歩。かわいい梅の花が咲いていましたね。



保護者同士の交流や情報交換の場になるよう、そして、学びの場となるようひろば・サロン活動を開催して参りました。保護者の方々のニーズを把握し、活動に取り入れながら、SNS等を活用し、告知・宣伝をさらに強化できるように努めていきたいと考えています。



お花見

気持ちいい～



鬼の面

上手にできました。

遊びに
来てね♪



自然環境を学ぶ事業

サシバの里 いちかいで



発見！体験！感動

私たちが手作りで、提供する自然体験は...

ふだん、何気なく通り過ぎてしまう景色も地域の人々を講師に招き、地域の人から話を聞き、人々の温かさに触れ、市貝町の里地里山の良さを知り、体験することで、通過点が着地点となります。

子育て世代と地域とが交流できる関係づくりも重点におき、自然体験活動の拠点を市貝町におかせていただいています。

2017年は・・・

4月

筍がりをしました。

汗をかきながらたくさん掘りました！

筍ご飯の試食。皆さん喜んでくれました。



たけのごはん
おいしい♪



5月

100人で田植えを行いました。

多くのボランティアさんにご協力いただき、子どもたちの体験を支えていただきました。



6月

小貝川付近にて生き物観察会をしました。

ガムシの幼虫を見つけたり、たくさんのドジョウを観察しました。



7月

伊許山にて森林散策とBBQをしました。
セミの羽化の様子を見る事ができ、子どもたちは大興奮!!
市貝町の谷津田も眺められ、絶景でした。



8月

きぼうの丘学童クラブのお友だちと合同の夕涼み交流会を行いました。
キャンドルも綺麗でした。

9月

稻刈り！白うめ塾・栃木の子どもたちと交流しながら鎌を使って稻を刈りました。だんだん慣れて上手に刈れるようになりました。



10月

秋の虫探し台風の影響で実施できませんでした。
秋のむしたちに早くあいたいな！平成30年度も実施予定です。



11月

100人収穫祭をしました。白うめ塾のお友だちと地域の子どもたちが、交流しながら、ゲームや餅つきをしました。仲良く助け合ってグループワークができました。



おもち・けんちん汁
おいしい♪



12月

しめ縄づくり体験をしました。

続谷のしめ縄名人の大瀧格さんを講師にお招きして、親子でわらをよりながら、力を合わせてしめ縄づくりを体験しました。



1月

落ち葉プール&焼き芋をしました。

子どもたちが事前に集めた落ち葉と大谷津のクヌギの落ち葉を合わせて特大の落ち葉プールをつくりました。チクチクふわふわ心地よい体験でした。



どこ？どこ？
見えた！！
あっ、鳥だ！！
たのしい。



3月

続谷里づくりの会の高徳克行さんを講師招き、手びねりにて、世界に一つだけの作品を作りました。親子で相談しながら制作した素敵な時間でした。



焼き上がりが、楽しみ。



多世代交流をする事業

地域食堂

事業の背景…

H29年度5月から地域多世代交流事業ということで、小学校区にてサロン活動を行ってきました。サロン活動の中でも食を通して、食事をしながらゆっくりとどまることはできないだろうか！？模索しながらの開催をすすめることになりました。昨今、地域では歯止めのかからない少子高齢、独居世帯の増加、核家族化による個食（孤食）といった家族を取り巻く環境の変化に、対応できていないことが現状です。

H29年度赤い羽根おうえんプロジェクトによりご支援いただきスタート開始

地域食堂では、様々な人がご飯を食べながら、ワイワイガヤガヤ。

シニアの方は子どもたちの元気な姿を見ながら食卓を囲み、子どもたちにいろいろな質問をしたり…。

子どもたちは地域のおばちゃんが作ってくれたご飯をおいしくいただけ！家族以外の方が作ってくれた、料理を口にできる経験、それは子どもたちの心を豊かにしてくれると思っています。

子育て世代のママたちも、月に一度だけでもホッとできる場所です。

大きな家族のような空間になれば、地域でのコミュニティづくりになるのではないかと思い、今後もボランティアの皆さんと楽しい空間づくりに力をいれていきたいです。



サシバの里自然学校



三地区の特徴



◎小貝小地区 羽ばたき拠点(旧小貝中央小) コミュニティルーム

・きぼうの丘学童クラブの子どもたちやその保護者を中心とした親子、地域住民が多い。

◎市貝小地区 サシバの里自然学校

・築150年の古民家自然学校の地域貢献として、2か月に一度の開催に場所を提供していただき、協働させていただいている。
SNSの呼びかけや口コミ、自然学校を訪れている方、地域住民の参加が多い。

◎赤羽小地区 赤羽南公民館

・町の持ち物ではあるが、自治会管理の公民館。赤羽上町・美ノ原自治会のご厚意で、月一度の開催に協力いただいている。
住宅地の中にあり、徒歩圏内の高齢者・地域の親子・地域住民の参加が多い。

参加者さんの声

ほとんど毎回参加の我が家。
おいしくて、ボリュームのある食事。
新しい出会いがあったり、おしゃべりに花が咲いたり、
音楽が始まったり。
子どもも大人も笑い合える空間。
居心地がよくて、帰り道はいつも心がほんわかする。
地域の優しさ、そして、そのつながりの確かさででき
ていると感じている。



市貝町
Nさん



ボランティアさんの声

●地域食堂のボランティアをやって～きっかけは、子育てが終わり、永年勤めた仕事も退職し、これから少しでも何か地域のお役に立つことをしたいなあとと思っていたところに、地域食堂のボランティア募集のお話を聞いたので思い切って申し込みました。

ボランティアをやってみて～
3つの地域食堂のボランティアをすると、今までお会いしたことのない方とどんどん知り合いになれて嬉しいです。また、いろいろなボランティアさんと一緒に活動することで、料理のコツを教えあったりその他の情報交換したりでき、毎回楽しいです。

「美味しかった。」「楽しかった。」と、参加してくださった方に言っていただくと、また頑張ろうと思います！



市貝町
Eさん



●地域食堂に参加したきっかけは自治会の回覧板で知り、直接羽ばたきに連絡。話を聞きに行きました。

やってみて。

人が出逢うのは奇跡だと聴きました。多分親子も、友だちも。そんな中で、回を重ねるうちに知り合いになり、笑顔で会話できるようになりました。遅れる来ないかと思ったよ。と心配してくれたり。何処かで繋がっているのを実感しました。皆と食べる美味しさをたくさんの方々に感じてもらいたいですね。

市貝町
Gさん



いつもたくさんの調理ボランティアのみなさまありがとうございます。
また、たくさんのお米やお野菜等の寄付、ありがとうございます。
感謝しています(＼＼>◡<／)。✿♥

いちかい子育てネット羽ばたきはたくさんの団体のみなさんとコラボしながら事業を展開しています。

羽ばたき×トチギ環境未来基地

子どもが遊べる森づくり in 希望の丘
きぼうの丘学童クラブの子どもたちにどうしても森の整備が必要なのか？教えてくれました。
企業からのボランティアさんも希望の丘整備に関わってくださいました。

羽ばたき×営農組合

100人田植え・稻刈りには小貝川・続谷営農組合さんの力を借りておこないます。
農業のプロ集団は私たちの強い味方になってくれています。

羽ばたき×サシバの里自然学校

地域食堂の市塙地区の開催場所として自然学校を提供していただいています。
自然学校としても地域貢献を！との思いから、市貝町をいっしょに盛り立てていけたらいいなと思いました。

羽ばたき×白うめ塾

東京都足立区のスポーツ塾の子どもたちや先生方が、年3回、田植え・稻刈り・収穫祭に訪れてくれます。いつも楽しみ！！と来てくれる子どもたちには感謝です。
収穫祭でのゲームをひとコマ担当していただき、みんなで馬跳びをして、遊びました。

たかはら子ども未来基金

H29年度より始まった、とちぎコミュニティ基金の「たかはら子ども未来基金、インターン部門」の助成を受け、市貝町在住の大学1年生の原田歩美さんが6か月間の羽ばたきの活動に参加しました。

きぼうの丘学童クラブの子どもたちと触れあったり、自然体験活動に参加してくれました。

羽ばたきとしては、若者世代との関わりが少なかったので、若者世代の考え方やエネルギーをいただき、活動の幅が広がりました。

原田歩美さんの声

約半年間、学生インターンとして、主に羽ばたきさんのもとで活動してきました。小さい子どもから、お年寄りまでたくさんの地域の人々と関わることで、自分の住んでいる市貝町により愛着を感じ、もっと町に貢献したいという思いが強くなりました。これまでのつながりを大切にし、つながりがより広がり、住んでいて、安心感がある町になっていったらいいと思います。



たくさんのご寄付・ご協力ありがとうございました。

賛助会員のみなさま

大久保敬子 小林清美 赤羽和子 関澤征子 鈴木奈津子

寄付いただいたみなさま

関澤久子 大久保雅之 黒崎博 小林勇一郎 原田綾子 小林清美 小森峠子 菊島大

平野英行 檜山恵子 関澤昭 相田豊 行田敦子 国井弘子 東上圭司

(敬称略)
(順不同)

ホームページもできました。
ぜひ、ご覧ください。
URL <https://www.i-habataki.org/>

特定非営利活動法人 いちかい子育てネット羽ばたき

〒321-3404 市貝町続谷1143-3 旧小貝中央小学校内 1階

携帯TEL * 090-3533-6521

FAX * 0285-81-7077

メール * habataki_ichikai_0_100 @ yahoo.co.jp

